

2011年度 第3回 静岡市外国人住民懇話会会議録

- 1 日 時 平成23年12月9日（金）19:00～20:30
- 2 場 所 静岡市クリエイター支援センター1階 第2会議室
- 3 出席者 外国人住民懇話会委員11名
上地 セシリア 恵美子、コルベイ スティーブ、
ズリア エルマワティ、宋 在英、蔣 信愛、
ナウオッド スレッシュ、朴 政浩、樋熊 アメリア、
藤井 明、マハラジャン ディリブ、山田 将弘
事務局 6名、静岡市国際交流協会1名
- 4 傍聴者 1名
- 5 次第
(1) 開会
(2) 在留管理制度の説明
(3) 意見交換
(4) 事務連絡
(5) 閉会
- 6 会議内容

コルベイ会長

2011年度第3回静岡市外国人住民懇話会を始めます。今日は少人数なので、市役所の方に直接聞きたい質問や意見交換、またそれぞれ取り上げたいテーマや問題点があればぜひお願いします。

例えば、前回も取り上げた問題をもう少し具体的に話したい、また別の問題点や、まだ話題になってない問題点があればぜひお願いします。

前は防災訓練について非常に興味がある方が多かったのですが、それ以降に防災訓練がありましたよね。参加された方はいらっしゃいますか？

スレッシュ委員

そういえば、先週の日曜日に防災訓練に参加しました。ネットで調べて、明日あるから参加しようと思い、ベルがなったらすぐ避難して学校に行ったのですが、実際に行ったらパニックになりますね。どこに並んだらいいのか、自分を含めて分からなかったし、聞いて

てみたら、実際に住んでいる所は学校の裏ですが、避難するところはそこではなくて、もう少し向こうの方だと言われました。災害があったら、すぐ近くに行った方がいいのですが、実際に決まっている避難場所は違う所だということをその場所で初めて知りました。大きな地震や災害があったら、やはり何をしたらいいかというのが分からないので、訓練に参加してよかったと思います。

コルベイ会長

つまり、情報が足りない状況ですね。

スレッシュ委員

そうです。ネットに情報が載っていますが、しっかり把握できず、もう少し詳しく調べればよかったと思います。要は、ある程度分かっている人間はいいのですが、ネットを見ても分からないとなると、どうやって避難した方がよいかというのは実際分からないと思います。

ディリブ委員

私の住んでいる押切という地域は、自治会の各世帯で月の会費を自動的に払う仕組みになっています。毎週回覧板が来ますが、それには近くの避難地域、何世帯あるか、安否の為の情報が共有されていて、非常にいい制度だと感じています。また、頻繁に訓練もやっているの、非常に便利だと思いました。こういうことはやらないと分からないですね。今会社でも毎月2回くらいそういう訓練をやっている、マニュアルはありますが、実際に何かあった時にはマニュアルは変わってきます。火事の経験も会社でしていますが、実際はマニュアル通りではなくて、自分で体を動かしました。だから、そういう機会に参加し訓練した方がいいと感じました。

コルベイ会長

回覧板はやはり日本語のみですか。

ディリブ委員

もちろん日本語のみです。

コルベイ会長

それも考えていきたいですね。残念ながら回覧板を作る人は翻訳できないので、特に防災訓練などの大事な情報は、翻訳する方法があるといいですね。

かみじふくかいちょう
上地副会長

防災訓練というのは、普段訓練に出ていないと、本当に災害があった時にじゃあ行きま
すといってもなかなか難しいですね。だから普段訓練がある時に参加して、近所の人と少し
でも仲良くできれば、参加しやすいかなと思います。

コルベイ会長

もう一つ私がお聞きしたかったのは、前回SAMEの方から紹介された、SAMEの携帯メー
ル配信はみんな登録されましたか？いろんな情報が送られてくるからいいですね。それに
関しては問題ないでしょうか。

上地副会長

防災訓練の欠点の一つあると思うのは、ある地域に住んでいても、自治会に入らないと、
回覧板が回ってこないというのがあります。そこに住んでいても、防災訓練の情報が来な
い。いつ、どこで行われるかという情報はなかなか回ってこないの、それも一つの問題
じゃないのかなと思います。

スレッシュ委員

2年前から市営住宅に住んでいて、情報も結構入ってきますけど、以前学生の時に入っ
ていた普通のアパートは、回覧板は回ってこないし、静岡気分という広報紙は一回も回っ
てこなかった。今はそういう情報が入ってきますが、普通のアパートに住む外国人には
情報が入ってこないですね。

上地副会長

回覧板だけでなく、広報も結構いろんな情報が載っていますね。

スレッシュ委員

一回ももらったことがないです。今考えるとその辺は取り残されていますね。

ディリブ委員

私のアパートでは、いまだそういう経験はないのですが、契約する時に自治会に強制的
に入らなければいけない。例えば、どこのアパートでも外国人が入った場合は、強制的に
自治会の会費を払って、入らなければならないという制度にすれば、一番情報もいって、
いいかなと思います。

上地副会長

災害があった時に、自治会に入っていないからあなたはここに来てはだめですよとは言
えないので、何か違う方法で、自治会に入っていないでも近所の人なので、参加してもら

える状況を考えてもらった方がいいのではないかと思います。

樋熊委員

私のアパートは、回覧板はもらわないけど、一階に置いてあります。だから、欲しかったら自分で持っていくという方法です。

コルベイ会長

ちょっと話題を変えます。前回もよくでてきた話題ですが、留学生に関しての問題です。例えば、これから優先すべき提案か、さらに留学生が日常生活をするための提案があれば、留学生もいらっしゃるし、非常に関係がある方もいらっしゃるので、そういう知識、経験にもとづいて、具体的にどうすればいいか、みんなと意見交換をしたいと思います。山田委員はどうですか？

山田委員

新しく日本に来た留学生は交通ルールとか日本の習慣に慣れていない留学生が多く多いです。バングラデシュと中国の留学生が中心ですが。ですから、先輩がいて先輩が教えてくればいいのですが、そういう先輩がいない時は、地域のアルバイト先や、学校の関係者が、積極的に教えるというのが一番手っとり早いのではないかなと思います。

コルベイ会長

具体的に市の方に今お願いできることというのは何かありますか。例えばその教え方として、あまりお金がかからず、みんなが参加できるような多言語でできる方法はないでしょうか。

山田委員

学校で日本人の子と付き合うようになって、友達が増えてくれば、いろんな情報が入ってくるようになると思いますが、学校にもほとんどいかず、真面目ではない子も中にはいます。そういう子も、僕が韓国に留学していた時、喫茶店で韓国の大学生に会えるコミュニティがありました。そういう、学生でも学生以外の子でも会えるような、留学生が中心となったコミュニティみたいなものがあればいいのかなと思います。

コルベイ会長

それは交通ルールだけではなく、日本の習慣を含めての国際交流ができる場所や出会いの場、イベントがあればいいということですね。そういうイベントはありますか。

事務局（近藤主任主事）

イベントという、1年に1回ここで開催している国際交流フェスティバルが大きいとおもいます。

コルベイ会長

例えば、留学生が来る時に月1回、どこかの会場を借りて、日本語や他の言語で話したり交流したりできる場所はないですか。

事務局（近藤主任主事）

大々的にたくさん集まっている場はないです。

コルベイ会長

他の市では、そういう場所や機会がありますね。例えば、月1回とか、ボランティアとか外国人と交流したい日本人と、日本にまだ慣れてない外国人が交流する場が。

事務局（近藤主任主事）

集住都市、たくさん外国人が住んでいる所では、建物全てが、国際交流の建物になっているところもありますが、それは大都市が中心になるとおもいます。静岡市も8,300人外国人がいますけれど、割合で見ると、全国的には少ないです。そして、あまり集住してなくて、いろんな所に住まわれています。集まっているところは少ないです。

コルベイ会長

他の方は、集まる場所についてどうおもわれますか。月1回、そういうのがあった方がいいのか。

樋熊委員

例えば、フィリピン NAKAMA の会がありまして、毎月アイセルで開催しています。料理を持ち寄って、困っていることやイベントについて毎月話し合っています。アイセルはお金がかからない場所ですし、部屋もいいですし、パーティーもできるしいいですね。

コルベイ会長

それはフィリピンの方同士ですか。それとも日本人も一緒ですか。

樋熊委員

日本人もいます。よかったら是非みなさんも遊びにきてください。市役所で昔働いていた先輩達がアドバイザーになっているから、いろいろなアドバイスをしてくれます。先週の日曜日にも救急ミーティングをやりました。

コルベイ会長

気になりますね。

エルマワティ委員

さっきの話を聞いて、私はいいチャンスだと思いました。私の経験では、最初に日本に来た時に、日本語学校に通ってました。その時、日本人の友達がなかなかできなくて、どうしたら日本人の友達ができるのかといろいろ考えましたが、なかなか見つからなかったです。そして、日本語学校を卒業して、大学に入ってから、そういう出会いができ、それはよかったのですが、今の日本語学校の生徒達を見ると、やっぱりそういう機会を欲しがっているのではないかと私は思います。もしそういう会があれば、その日本語学校の生徒達も、すごく勉強になりますし、日本人の方も、たぶん外国のことも知りたいのではないかと私は思っています、そういう、お互いに理解し合うためにそういう会がいいなと私は思います。

かみじふくかいちょう
上地副会長

国関係なくですか。

エルマワティ委員

はい。

コルベイ会長

その方がいいと思います。元々ありますが、例えばフィリピン人同士とか、中国人同士とか。自分の国の人が多い人、逆に自分の国の人が少ない人もいますので、例えば3人とかしかいない場合は、自分の国の会を作りにくいし、日本人もいろんな国の方と交流したいと思います。もう少しオープンな感じでやれたらいいと思います。現在、無料の日本語のクラスとかありますか。例えば、日本語学校に通っている方々のためではなく、会社か、日本語を勉強する機会のほとんどない外国人のための日本語のクラスはありますか。

しずおかしこくさいこうりゅうきょうかい いしぐろしゅじ
静岡市国際交流協会 (石黒主事)

静岡市国際交流協会で、1週間に1回クラス形式で、毎週火曜日の18:30~20:30まで日本語教室をやっています、そこではいろんな国の方、働いている方も来るので、外国人の方同士は交流できています。先生は日本人お一人なので、日本人の方と交流とまではいかないですが。あとは、夜に来られない主婦のために、昼間、交流室というお部屋がありまして、「ひらがな」という団体が、先生一人が生徒一人に対して、教えています。これは、昼間が1時間500円、夜は10回コースで4,000円です。

コルベイ会長

でも交流はあまりないのですね。

静岡市国際交流協会（石黒主事）

そうですね、交流はないです。

上地副会長

日本語を学びにくるという感じですね。

コルベイ会長

交流会を作ってもあまりお金はかからないし、部屋を借りて宣伝すれば実現できると思います。とてもいい提案だと思います。留学生はどうですか。

蔣委員

最近学校の近くで、交通ルールをしっかりと守ってなくて事故が起きるとというのが、1か月に1～2件あります。それをずっと気になっていて、同じ所で毎回事故があるので、それなら最初から見直せばいいのと思います。毎月そういうメールがきますが、同じ所でバイクと車の事故があって警察が来ますが、それなら、アンケートを取って最初から見直すことが大事だと思いました。あと、私はほとんど自転車で通っていますが、街が結構暗いのですね。でも、学生だと交通手段で自転車を使うことが多いので、夜は大変ですね。冬は暗くなるのが早いですし、恐いです。自転車を使う方は多いのに、それに比べるとすごく街中が暗いという印象があります。あと、駐輪場について、特に木曜日に整理員がたくさんいますが、それなら、駐輪場をちゃんと広告して教えてあげれば、外に無断で止めたりすることはないのでと思います。ただダメと言われても、どこに停めていいのかわからない人も多いと思う。駐輪場が地下とかにもたくさんありますよね。それを知らない方が日本の学生でも多かったのだから、ちゃんと広告すれば、街中の違法駐輪もなくなると思います。この前ブラジルのサンバイイベントをやっていたときに、自転車がいっぱいあるとカメラを持っている方とか外で見ている方とか、すごく邪魔になっていたのだから、普段から駐輪場の場所を広告すれば、イベントのときに、便利だと思いました。

コルベイ会長

確かに私も交通ルール、特に自転車と原付のルールは分かりにくいです。やはり外国人、特に留学生の場合は、自転車と原付しか乗らないので、いろんな言語でまとめて、ちゃんとルールが書いてあったらいいと思います。例えば「軽車両を除く」とか。来たばかりの外国人は読めないのだから、ビックリすると思うし、その意味も分からないと思うので、そういうまとめた説明があれば、駐輪場を含めて、いい考えだと思います。駐輪場は日本人に

とっても外国人にとっても結構大きな問題になっています。特に、今環境を守った方がいいという方針があるのに、やっぱりまだ車を優先しているという状況です。基本的に無料の駐輪場をもっと増やした方がいいと思います、その前に説明だけでもあった方がいいと思います。

スレッシュ委員

今は車のナンバープレートが日本語で書いてあっても読めるからいいですが、静岡、新潟など漢字でいろいろ書いてありますね。でも実際事故があった時、読めない人がいたらどうやってナンバープレートを読めるかということを疑問に思いました。

コルベイ会長

警察官が来たら問題ないと思います。ひき逃げになったら多分その番号等、車種しか分からなくても、警察官が何とかすると思います。

朴委員

心配すぎというところで、共通するかもしれませんが、それこそ、防災の話が出ていますよね。会長は、市長が言っていた海拔表示のステッカーを見ましたか。

コルベイ会長

まだ見ていないです。

朴委員

僕は近所に出ていたのですが、実際見たのですが、なかなかいい試みだなと思いました。ちなみに僕の近所は8m位でした。それと関連してという訳ではないですが、瀬名は津波は来ないと思います。学者の方の講習会に参加させてもらったのですが、静岡の場合は津波の心配よりも、地震の心配がメインだそうです。浜松と沼津は津波が心配だけど、静岡市に関してはそんなにやばくない。京都などで学会が行われると、ヨーロッパから先生達をお呼びするのですが、放射能がこわくて、いまだに来ないそうです。日本の情報と外国の情報ではまるで違います。放射能に関して、外国の方は大変敏感です。日本人の方が鈍感です。僕は正直、今も出ていると思うと恐いです。やっぱり、食べ物に気を使っています。市役所でガイガーカウンター（放射線計）とか貸出ししてくれますか。今年のクリスマスはガイガーカウンタープレゼントとか。行政にお願いしたいのは、他の行政のことは分からないですけど、福島に近い行政ほど、学校や庁内で、貸出されているそうです。静岡に関しては何も話が出てこないのです。オフィシャルな発表では、大丈夫と言っていますけど、オフィシャルな発表を信じる人はほとんどいませんから。さっき言ったように、外国の方は来ないですから。僕は、定住している外国人も放射線に関しては、心配されている方がい

ばいいと思います。それを踏まえて、市役所で、それに対してのリアクションやスタンスを出していただければと思います。

事務局（近藤主任主事）

放射能に関しては、日本人も外国人も恐いと思っているのではないのでしょうか。特に外国人住民に対してというところはありませんか。

朴委員

いや、たまたまここが外国人住民懇話会だからであって、一市民としてということではないです。それが、定住外国人に対して、告知されれば問題ないです。

事務局（近藤主任主事）

情報提供の問題の部分ですね。

朴委員

そうです。タイミングとしては遅い部分もあるのですが、ないよりはましでしょうということですね。

コルベイ会長

個人的には、私は考えていません。放射能を浴びっぱなしとか浴びていないと勝手に思っています。政府を信じていますので。でも確かに、静岡にお住まいの外国人と旅行者のためにも、英語や中国語でそういう情報がどこかに書いてあったら、外国の方も安心して静岡に来てくれる可能性がありますね。だから私は、政府は問題ないのにわざわざ発表する必要はないと思っていますが、海外からの情報を含めて、発表して欲しいですね。私の昔の経験から、地震の時は、いろんな場所に外国人がいますので、情報が日本語だけではなく、英語、中国語、韓国語で書いてあったら、旅行者のためにも、定住の外国人のためにも役に立つと思います。そして、それもあまりお金がかからない提案なので、簡単なホームページで毎日か毎週でも更新してはどうでしょうか。そんなに毎日変わらないと思いますので。静岡は安全、来てくれる方と、お茶の問題なんかありますけども、それを含めてアピールする必要性がありますね。

朴委員

専門家ではないので、分からないですけど、ただ今回のことは一生に一度あっても困りますが、実際起きているわけですから、できる限りのところで、コストがかからないように、定住外国人の方には情報提供すべきだということですね。

コルベイ会長

一人で不安になっていては意味がないですし、一人で測るのもよくないかなと思います。私は専門家を信じた方がいいと思います。自分で測ると、お医者さんと一緒に、自分で自分の体を診断すると、やっぱりいろんな病気があると思ってしまう方が多いと思うので、その不安はまずいと思います。

上地副会長

恐いという方は結構いますよ。私の周りでも子供がいて、恐いから帰るといふ人もいますし、食べ物に気を付けて東北のものを買わない人もいます。全く興味がないというわけではないので、みんな気にしているは気にしていると思います。情報もそれぞれの言語で見るのが、一番いいかなと思います。

コルベイ会長

京都行きたくないという話を聞きましたが、それはさすがに心配しすぎですね。

朴委員

心配しすぎですけど、それくらい噂って恐いので。

コルベイ会長

情報はいっぱいあった方がいいと思います。情報がないとみんな不安になりますので。

朴委員

あまり情報が溢れても困るのですが、取捨選択できるように、取り揃えてくれた方がベターです。

山田委員

放射能に関しては、静岡新聞ホームページに定期的に、毎日ですか、静岡市、下田市、沼津市という形で、その日何ミリシーベルトか測られています。たいしたことはない数字ですが、静岡に住まわれている外国人の方も、そんなに心配しなくていい数字だと思います。年間浴び続けていても、体に影響が出ないくらいなので、心配ないと思いますけど、ただ、食べ物とかそういうものは少し気にした方がいいかなと思います。

上地副会長

今まで海外のものは気を付けなきゃと言っていたけど、最近では日本のものの方が危ないかなという感じになっちゃったんですね。

朴委員

今解除されているかどうか分からないですけど、EUでは静岡の農産物は禁止されたじゃないですか。こんなに遠いのに、彼らは、この距離でも危ないということをやっぴり分かっているんです。先ほどお話した学者の話ですが、東北やその近辺の農作物ばかりが話題になっていますけれど、魚が危ないと言っていました。その学者は、今年は、私は東北地方の魚は一切口にしないと断言していました。外国人の奥様がいて、なんでこんなに白菜が安いのかしらと言っていて、確かに、テレビや新聞で見ると豊作だからと言いましたが、産地だったらしく、普通の値段の半値以下となっていて、とても怖くて買えなかったということです。最終的に言いたいのは、自分で自分の身を守るしかないのかなと思います。それは、日本人も外国人も関係はないということですね。それに関わる情報提供はして頂きたいということです。

スレッシュ委員

昨日か一昨日のニュースで、野菜が安くなっているというのは、例年に比べて豊作であるからとか、他のものが高くなっているから野菜が安くなっているとか、魚や肉より野菜の方が安くなっているということを、テレビで言っていましたね。

コルベイ会長

個人の決断で、人それぞれだと思います。でもそれだけではなく、やはり静岡にお住まいの外国人のために、旅行者のために、放射能等、静岡は安全ですか、静岡の食べ物はしっかり検査して何も問題ないですか、どこかに英語などで書かないと、心配してしまう。お土産を買わないとか、お茶を買わない方もいらっしゃいますし、日本に住んでも例えば、お茶とか静岡の野菜を買わないと言ったら、それは、私にとっては残念だと思いますけれど、確かに、静岡に安全な方法や安心感がないので、どうやってそれを証明するか、どうやって検査したか、どれくらいやっているか、専門用語を使わずに、英語で簡単に、しっかりしているから安心して買ってくださいとか、消費してくださいとか、そういうことをすると、レストラン業界にとって、いいことになると思います。

宋委員

いいアイデアだと思います。せめて静岡空港に、外国人向けに、例えば、お茶の安全性とか、今の放射線量はどのくらいあるとか、静岡に着いた方は若干不安を持っていると思うので、ちょっと説明をすることは、静岡で安全な気持ちでお土産をたくさん買えるし、いろいろ楽しんで帰られるのでいいかなと思います。

コルベイ会長

確かに静岡空港の看板かどこかに、それを書くのはいいと思います。

そんいん
宋委員

別の意見ですが、私の経験です。私は日本に来て8年目ですけど、今まで一番大変な時期は、長女を産んだ後ではなく、次女を産んだ後でした。その理由は、長女がいて動き出して、体が大変だったことと、その時に、私も経験があるからと国のお母さんやお父さんと呼ばずに、一人でやろうと頑張ったことです。その時は体方面ですごく大変で、ヘルパーでも呼ぼうかなと思いました。ヘルパーのシステムで、時給800円くらいのお金を払って頼もうかなと思ったのですが、面倒ですし、お金もかかるからと我慢したりしましたが、その時思ったのは、やはり外国人として日本で出産して、日本人を産む、日本のために私は出産しているのに、なんでこんな大変でサポートがないのかと不満を思ったりもしました。せめて外国人の女性が出産した時に、特別な支援があるといいかなと思いました。特別な支援があるかどうか実際には分からないのですけれど、自分は特別な支援を受けられなかったので、これはちょっとフェアじゃないかなと思いました。

やまだいん
山田委員

僕も子供がいます。上の子が2歳で、下の子がまだ3か月くらい。うちの奥さんは仕事をしていまして、朝9時から仕事をしていて、帰ってくるのは夜7時くらいです。そうすると、美容院をやっていますが、子供が泣いたら一旦仕事を止めて、後ろにいておっぱいをあげます。日本人でもすごく大変ですよ。子供を産むということは。そして、3歳くらいになったら保育園に入れたり幼稚園に入れたりしますが、私の母が、仕事が忙しくて予約がいっぱい入っている時は、来てくれます。そういう意味では、家族がいるから助けてくれていますけど、行政でサポートしてくれるというのは僕も特に考えたことがなくて、だから保育園に入れようかなとか、その程度ですよ。

そんいん
宋委員

だけど保育園に入れるには、お母さんが働かないと、両方とも働かないと保育園には入れられないのですよ。幼稚園は3歳になったら自動的に入れますけど。私は、小さい時が一番大変だと思います。お母さんが出産した間もなくの時です。出産はみなさんにあまり関係ないのですが。

いん
スレッシュ委員

実は奥さんに二人目の子供がいますが、子供を保育園に入れやすい状態にして欲しいです。両親が働かなくても入れるように。なぜかという、うちの子供は保育園に行っ、日本語をしっかりと喋っているのに、同じ国籍の方の子供は二人いますが、3歳で日本語が喋れなくて、日本に適用ができていません。実際学校に行こうとしたら、日本人とうまくいかないのです。その子を見ると、うちの子供はしっかり日本語ができて、ちゃんと日本人らしくできています。やっぱり、お母さんが働かなくても、保育園に必ず入れるシステ

ムを作^{つく}って欲^ほしいです。外^{がい}国^{こく}人^{じん}だ^らうが、日^に本^{ほん}人^{じん}だ^らうが。保^ほ育^{いく}園^{えん}から入^いれた方^{ほう}が、子^こ供^{ども}として^{とも}は友^{とも}達^{だち}も^もで^でき^きるし、教^き育^うも^もで^でき^きて^いい^いです。ぜ^ぜひ^ひそ^その^のよ^よう^うな^なシ^しス^すテ^てム^むを^を作^{つく}って^ほ欲^ほしい^いです。

かみじふくかいちよう
上^{じやう}地^ち副^{ふく}会^{かい}長^{ちやう}

市^しの^の保^ほ育^{いく}園^{えん}で、出^{しゅつ}産^{さん}す^する^る少^{すこ}し^し前^{まえ}、3^{げつ}か^{げつ}月^{げつ}位^{らい}の^の間^{あいだ}保^ほ育^{いく}園^{えん}で^う受^うけ^い入^いれ^いて^いて^いま^ませ^せん^んか。

いじん
ス^すレ^れッ^っシ^しュ^ゅ委^い員^{いん}

自^じ分^{ぶん}は^お興^くさん^{さん}が^だい^だが^がく^くい^いん^んせい^{せい}な^なので^でき^きる^るの^のです^すが、意^い外^{がい}だ^だった^たの^のは、次^{つぎ}の^の予^よ定^{てい}が^き決^きま^まら^らな^ないと、う^うち^ちの^の子^こ供^{ども}も^も保^ほ育^{いく}園^{えん}に^いれ^れら^られ^れない^いと^とい^いう^うこ^こと^とです^す。博^は士^し課^か程^{てい}を^う受^うけ^いよう^うと^とし^して^いて^い、そ^それ^れが^が決^きま^まれ^れば^ば保^ほ育^{いく}園^{えん}も^もそ^その^のま^ま続^{つづ}け^けら^られ^れま^ます^す。自^じ宅^{たく}に^いて^いて^い勉^{べん}強^{きやう}で^きな^なく^くな^なる^るか、ど^どち^ちら^らか^かで^です^すね。教^き育^うは^{だい}じ^じ大事^{だいじ}です^す。絶^{ぜつ}対^{たい}保^ほ育^{いく}園^{えん}に^いれ^れて^いて^い欲^ほしい^いと^とい^いい^いま^ます^す。

かいちよう
コ^こル^るベ^べイ^い会^{かい}長^{ちやう}

保^ほ育^{いく}園^{えん}は^き本^{ほん}的^{てき}に^き教^き育^うと^して^し考^{かん}え^えて^いま^ませ^せん^んよ^よね。

そんいじん
宋^{そう}委^い員^{いん}

保^ほ育^{いく}園^{えん}は^き本^{ほん}的^{てき}に^き教^き育^うで^はな^なく、お^お父^{ちち}さん^{さん}、お^お母^{はは}さん^{さん}が^い働^{はたら}いて^いて、育^{いく}児^じが^でき^きない^いの^ので、日^に本^{ほん}人^{じん}で^も外^{がい}国^{こく}人^{じん}の^のお^お母^{はは}さん^{さん}で^も条^{じょう}件^{けん}は^{いっ}しょ^{しょ}です^す。

いじん
ス^すレ^れッ^っシ^しュ^ゅ委^い員^{いん}

一^{いっ}しょ^{しょ}で^すけ^けど、絶^{ぜつ}対^{たい}入^いれ^れて^いて^い欲^ほしい^いです^す。保^ほ育^{いく}園^{えん}に^いる^るの^のが^き厳^{げん}しい^いの^のは^わか^かり^りま^ます^すが、3^{さい}歳^{さい}に^なると^と全^{ぜん}部^ぶ自^じ分^{ぶん}で^やっ^つて^いて、そ^それ^れを^を見^みて^いると^うれ^れしい^いの^のです^す。

そんいじん
宋^{そう}委^い員^{いん}

ご^ごめ^めん^んな^なさい。私^{わたし}の^の話^{はなし}は^ほ保^ほ育^{いく}園^{えん}ま^までの^の話^{はなし}で^はな^なく、育^{いく}児^じを^して^いる^る時^{とき}、外^{がい}国^{こく}人^{じん}の^の母^{はは}に^{たい}対^{たい}して、何^{なん}と^とか^かサ^さポ^ぽー^うト^とが^{ひつ}要^{よう}だ^だな^なと^とい^いう^うこ^こと^とです^す。体^{たい}力^{りき}的^{てき}な^なサ^さポ^ぽー^うト^とに^して^いても^も、金^{きん}銭^{せん}的^{てき}に^は、子^こ供^{ども}に^{たい}対^{たい}して^はあ^ある^る程^{てい}度^ど、月^{つき}い^いく^くら^らと^とか^かあ^あり^りま^ます^すけ^けれ^れど、そ^それ^れ以^い外^{がい}に^{はは}母^{はは}に^{たい}対^{たい}して^は何^{なん}か^かい^いい^い制^{せい}度^どが^あれ^れば^ばと^とい^いい^いま^ます^す。

いじん
ス^すレ^れッ^っシ^しュ^ゅ委^い員^{いん}

田^た辺^{なべ}市^し長^{ちやう}の^のマ^まニ^にフ^ふェ^えス^すト^とに^はあ^ある^ると^とい^いい^いま^ます^すよ。

かみじふくかいちよう
上^{じやう}地^ち副^{ふく}会^{かい}長^{ちやう}

保^ほ健^{けん}セ^せン^んタ^たー^たで、予^よ約^{やく}制^{せい}で、例^{たと}え^えば^ば午^ご前^{ぜん}中^{ちゆう}に^き来^きて^いて^いま^ます^すと^とい^いう^うこ^こと^とが、ヘル^{へる}パー^{ぱー}さん^{さん}み^みた^たい^いな^な方^{かた}が^いま^ます^す。そ^それ^れは^は外^{がい}国^{こく}人^{じん}、日^に本^{ほん}人^{じん}関^{かん}係^{けい}あ^あり^りま^ませ^せん^ん。た^ただ^だ、お^お金^{かね}は^はか^かか^かり^りま^ます^すが。

そんいん
宋委員

それは平等ですね。本当にすべて平等だと思います。

かみじふくかいちよう
上地副会長

その辺は、そういう支援がありますが、ただお金がかかって予約制みたいな感じになってしまいます。

そんいん
宋委員

それは平等ということで、私は不満を持っているのです。日本は少子化じゃないですか。私は外国人として、ここに来て日本の人口や日本の少子化対策にもつながる、日本の国籍を持つ子を育てているというのに、特別な配慮がないのが寂しかったです。

スレッシュいん
スレッシュ委員

子ども手当でも出るけど、子ども手当よりは母親への手当ですね。

コルベイかいちよう
コルベイ会長

少子化の問題は確かにあります。外国人は自分の家族が大体いらっしやらないので、義理の母親に手伝ってもらおうとか。外国人同士の結婚の場合はさらに厳しくなりますね。だから特別な制度があるといいです。やはり、そういう意味では、支えてくれる人が少ないのですよね。でも日本の方も県外の方もいらっしやいますからね。それは同じ問題になりますけれども。基本的には多少外国人にとって負担ですね。

かみじふくかいちよう
上地副会長

そのためには、そういうことをできるスタッフを育てなくてははいけませんよね。精神的にもそうだし、いろんな家のこととか、お母さんのこととか、ちょっと不安になったりするじゃないですか、お産後は。そのためには、育てなきゃいけないですよね。あれば一番いいですけどね。

そんいん
宋委員

日本人でも、外国人でも、子供に対してのカウンセラーはありますよね。母親向けもあればいいですね。

ふじいん
藤井委員

自分も子供3人いますけど、保育園に入りたいです。一番下の子はもう2歳半くらいですけど、奥さんが働いていないので入れない。保育園に入れて欲しいけど働かないと入れない。

コルベイ会長

そして、保育園に入れないと仕事が見つからないという悪循環がありますね。それは日本の方も同じだと思いますが。

藤井委員

もう一つは外国人として、派遣会社しか仕事がないじゃないですか。派遣会社に入ると、朝8時からじゃないと仕事できないし、早めに4時までで終わりになってしまいます。残業もやらなくてはいけないし。保育園は7時までですね。残業もできないし、それが問題だなと思います。

宋委員

私立と市立の保育園では、保育時間が違う。市立だと6時までですね。

事務局（山梨主査）

7時までやっている市立の保育園もありますよ。保育園や場所によって違いますね。

上地副会長

7時までであると、6時～7時の間で延長料がかかりますか。

事務局（山梨主査）

延長料がかからない保育園もあります。

宋委員

私の子供は2人保育園に通っていますが、下の子が市立で6時までです。6時までに会社から間に合わないといけません。長女は私立なので7時まで。

スレッシュ委員

保育園を作ってくれれば、子供をいっぱい作って産むのに。子供はいっぱいいた方が楽しいです。

コルベイ会長

日本人も同じ悩みを抱えていますし、少子化問題の原因の一つであると思います。社会が支えてくれないという気持ち、日本人の心に全体的にありますし、そして子供を作らない。子ども手当てというよりは、もっといろんな実際的な支援が欲しいですね。

スレッシュ委員

もらったお金で子供は支えていけるのですが、行政からもらうお金で違うものができ
くれれば、子育てとしてはすごく助かりますね。私の会社の日本人に聞いても、子供を作ら
ないのは、やっぱり面倒を見る人がいないから。だから、35歳~40歳になっても子供がで
きない。いくら少子化問題でお金をくれるといっても、お金をもらったって、子供がちゃ
んとした安全な所に入れないというのはよくないですね。

宋委員

外国人の女性が出産することと、日本人の女性が出産することを、同じだと思いがちで
すが、私にとっては全然環境が違うので、せめて安心して、産める環境が欲しいです。
3人目まで産みたかったのですが、その環境ではないと分かったので、もう3番目はな
いと話はしていますけど、若干、保障とか安心が、例えば、ヘルパーも、次女からは半額
にしてもらえると、そういう心遣いがあったら、私の気持ちも寂しくなく、楽だったと
思います。

スレッシュ委員

多分静岡市は将来的にはいいと思います。来年度から中学校まで医療費無料と言ってい
ましたし。

コルベイ会長

たしかに、子育ての話は今まであまり出てこなかったですが、大きな問題ですし、例え
ば、提案として、外国人向けヘルパーなどはどうですか。外国人のための特別支援ですね。

宋委員

特別な支援・制度があるといいですよ。

コルベイ会長

それは具体的にはどういったものですか。

宋委員

今は、市で、トライアングルシステムといって、ヘルパーの団体があって、1日何時間か、
時給で、電話して予約すれば来てくれるシステムがあるようです。だけど、こういうシス
テムは同じじゃないですか。外国人であっても日本人であっても。でも、外国人の女性は、
自分の母親がここにいないはずなので、もうちょっと必要性があると思うし、もうちょっ
と気軽に支援があったらいいかなと思います。お金であったら3割とか、2番目の子供か
らは1日1時間無料とか、出産した後1か月は何時間か無料で支援してもらえると
いうのがあったらいいかなと思います。一番体力的に大変なのは、出産後1か月ですね。

かみじふくかいちよう 上地副会長

外国人のためにヘルパーを支援してくれるのはすごいことだと思いますけど、お金の面で外国人だから3割とか、そういうのは、日本人に対して不公平かなと思います。何でも外国人だからって言われます。日本人の方もだまっていけないと思います。違う形でできた方が効果はあるのではないかなと思います。

やまだいん 山田委員

子供に関しての医療費っていうのは、うちの小さい子が2日間入院して、入院した治療費が15万円くらい、2日間でびっくりしましたが、払ったお金は600円位です。出産した時も、30万円位かかりましたが、30万円位くれるじゃないですか。そうすると、今の宋委員のお話ですと、やはり家族のサポートを受けられない外国人の女性は、育児はすごく大変だという話ですね。その場合出産をした女性の国にいる親御さんの入国するときのビザを2年にするとか。そういうことじゃないですか。そういうサポートはできるのかなと今ちょっと考えたのですが。

そんいん 宋委員

韓国以外の他の国の方にはとてもいいアイデアだと思います。実際に友達も、3か月間親を呼んだのですが、それを延期ができなかったため、親を帰らせていました。実際にそういうビザのトラブルの面があるので、彼女ももっと自分の親と一緒に育児をしたかったと思いますけど、できなかったのも、それはすごくいいアイデアだと思います。

こるべい コルベイ会長

国のレベルの話になるかもしれないけれど、フランスの場合は、フィールペイという制度があって、例えば、大学生くらいの女の子の人が、フランスでフランス語を勉強するため、ホームステイをする場合は無料でそのフランスの家族に住めます。その代わりに、子育ての協力をするとか、家事を手伝うとか、お金はもらわないけど、無料で住めて食べられるから、その間に大学で勉強できます。大きな話になりますが、そのような特別なビザがありますので、そういう可能性もあります。新生児を任せられませんので、大体子供が大きいですが、そういう中学生の面倒をホームステイ中の大学生がみます。お母さんが仕事をしているので、ベビーシッターとしてですね。確かに日本は家に来てくれるベビーシッターなど何も制度がないので、私が考えるのは、これから例えば、子育て経験がある今仕事をしていない外国人のお母さんとか、専業主婦という方でちょっと手伝いたい場合は、お金の問題は別として、できれば、同じ国の同じ言語を喋れる人と、そういう制度を作ったら、市にとってあまり負担にならないと思います。ただ、連絡先交換とか、その人が毎週月曜日時間があるので行けますよとか、中国のお母さんや韓国人の奥さんに交通費くらい出して、友達になれるし、そういうことを今やりたい方もいらっしゃるかもしれないけど、逆にピ

ンポンと来られるのは嫌な人もいるだろうから、市は紹介だけの形にして、それもあまりお金がかからないボランティアという形で、お金のかからない解決方法だと思います。

上地副会長

先程医療の話が出ましたが、日本では子供が小学校にあがるまでは500円の子ども医療費助成制度があります。それ以降は、普通の金額になってしまうので、できれば子供が18歳くらいまで支援があればいいかなと思います。

藤井委員

それは他の市では、やっていると思います。豊橋市だとたぶん16歳位まで。

事務局（山梨主査）

市によって違いますね。もっとお金を払わなくてはいけない市もありますので。静岡市は来年度から中学校まで医療費助成がありますので、もしかしたら、静岡市に子育てのため、移り住む家族が増えるかもしれないなと思います。子育てしやすいということですね。

スレッシュ委員

奥さんも言っていました。静岡市は子育てしやすい都市だと。

上地副会長

なぜこの話をしたかというと、ブラジルでは18歳くらいまで歯医者さんとか、全部無料でできるので、日本もそういう制度があればと思います。私は子供が3人いるので、高校生が2人いますが、病院に行くと、診察代と薬代が少なくて、ちょっと安かったらいいかなと思います。大人と比べて、医療をもう少しよくしてもらえればいいですね。

スレッシュ委員

選挙権はいらないけど、子供を育てる環境を作ってほしい。

コルベイ会長

それでは、時間ですので、連絡事項に移ります。

以上